

◎ 比例区は
中道改革連合

利権政治にとどめを! 不安を希望に変える

自己責任ではなく、「公助」「共助」で 安心できる社会をつくる

なぜこんなにも普通に生きていくことに不安を感じるのでしょうか。普通に働いた賃金で子どもを育て学校に行かせ、家を建て老後に備えることが容易ではないからです。また、どんな不測の事態(病気、事故など)に遭遇するかわかりません。経済効率が優先され、非正規雇用が増え、不安定にも関わらず、自己責任ばかりが強調され、納めた税金が、教育、子育て、医療、年金、介護、福祉など、誰も(社会)が必要とする公的サービス(ベーシックサービス)に十分配分されていないのです。それぞれでは解決できない課題を克服するのが「公助」「共助」であり、その仕組みを充実させることで、一人ひとりの尊厳と安心を保ち、全ての人々が夢と希望を持って生きられる社会をつくるのが政治の役目です。



詳しい政策はこちら



近藤昭一プロフィール

1958年名古屋市生まれ、千種高校、上智大学卒。中日新聞社を経て、1996年初当選。総務委員長、環境委員長、環境副大臣、立憲民主党ネクスト環境大臣、党代表代行等を歴任、現在、中道改革連合副代表。座右の銘は「愚公移山」、好物はお好み焼き、趣味はミニカー収集、スキーは準指導員、テクニカルの資格を保有。



中道改革連合公認
近藤昭一
こんどう しょういち

近藤昭一が目指す「あたたかい社会」/

3つの「柱」

| | | |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 平和 国を戦争に引き込まない | 人権 物価高から生活を守る | 環境 汚染や被ばくからあなたを守る |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|

3つの「平等」

| | |
|-----------------------|---|
| 医療・介護へのアクセスの平等 | 誰もが病気になり体が不自由になることがあります。公平なアクセスの確保が必要です! |
| 教育・福祉へのアクセスの平等 | 誰もが公平に学び続けられ夢を追い求め、お腹をすかさずに生きられなければなりません。 |
| ジェンダーの平等 | 女性であることで不利益を被り、セクハラ・パワハラなど許してはなりません。 |